

Ⅱ 学校運営

1 グランドデザイン



横浜南陵高等学校

グランドデザイン

育てたい生徒像

- ◎社会で活躍できる実践力を有する生徒
- ◎自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる生徒

確かな教養

- 確かな学力
- 幅広い知識と技能
- キャリアデザイン
- 福祉マインド

健康な心と身体

- 豊かな心
- 健やかな身体
- 協働・感謝
- いのちの尊厳

身に付けさせたい力と 教育活動

部活動

学校の活力を生み出す
エネルギー源
自主性・積極的な活動
体力・技術の向上

進学に対応した教育課程
ICT機器の活用
総合的な探究の時間

学習

- ◆自己発見
- ◆自己探究
- ◆福祉探究
- ◆テーマ探究

身に付けさせたい力

- 主体的な行動力
- 思考力
- 判断力
- 表現力
- 共感力

地域連携

ボランティア活動
日野中央高等特別支援学校との交流
(授業・行事・部活動など)
地域施設等との交流

生徒主体の行事運営
協働と仲間づくり
お互いを尊重する心

学校行事

生徒の実情 主体的に学ぶ意欲の向上
豊かな人間性のさらなる涵養

保護者の願い 安心・安全・信頼の確立
進路指導の充実

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

教育活動の実践・評価

= カリキュラム・マネジメント

- 教科等横断的な視点
- 教育課程実施状況の評価と改善
- 人的・物的な体制確保と改善

かながわ教育ビジョン

県立高校改革実施計画

2 学校教育計画(令和2年度～令和5年度)

(1) 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、豊かな知識と広い視野を備え、社会で活躍できる実践力を有する人間の育成をめざし、健康福祉コースを核とした特色ある教育活動を実践するとともに、地域との交流・連携を重視した地域に根ざした学校づくりに取り組んできたが、今後はさらに、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めるための不断の授業改善を行い、生徒の社会と関わる力を一層高めるなど、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、これまで健康福祉コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする改編に取り組む。

(2) 学校教育目標

◎ 豊かな知識と広い視野を備え、社会で活躍できる実践力を有する生徒の育成

◇ 互いに思いやり、自他の大切さを認め、共に生きる仲間づくりを進める。

◇ 自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高め、一人ひとりの進路目標の実現をめざす。

◇ 生徒の社会と関わる力を高め、これからの時代に求められる資質・能力を育む。

◇ 教育環境の整備と地域・家庭との連携を深め、安心・安全な学校づくりに努める。

(3) 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりに応じた指導と生徒の主体性を育む学習指導を推進する。 ②福祉マインドを培う教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 社会で活躍できる実践力を養うため、教科横断的な授業の構築を行い、生徒の学力向上を踏まえた教育課程を編成する。 ICT教育を推進し、テーマに向けた研究授業等を積極的に行い、授業改善に努める。 福祉マインドを育成するため、日野中央高等特別支援学校と連携する。また、「総合的な探究の時間」の内容を充実させる。
2	生徒指導 支援	豊かな人間性と社会性を育み、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に臨む姿勢を基本に、SNS等への注意喚起を促し、規範意識の醸成を図る。 支援を必要とする生徒への校内体制を充実させ、きめ細かな対応を行う。 3学期制移行後の学校行事を生徒が主体的に企画・運営に関わるような工夫を行う。
3	進路指導 支援	①生徒の主体的な活動を通して、進路実現・自己実現を果たす力を育成する。 ②進路指導計画の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 進路実現のために必要な能力や資質、態度の育成を目指して実践する場を提供し、自ら将来を切り開く力を育成する。 大学入試制度の変革に対応した進路指導のあり方を研究し、対応策について授業を中心とした教育活動へフィードバックする。
4	地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献活動やボランティア活動をさらに活性化させ、福祉マインドの定着を進めるとともに「ともに生きる」ところを育む。
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。 ②教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高める工夫、地域と連携した防災訓練の実施に取り組む。 タイムマネジメントを確立し、教員が働きやすい職場づくりを推進する。 事故・不祥事防止について職員の意識を高める。

